


整理番号	HT28225	分野	生活・医歯薬学	(キーワード)ストレス
------	---------	----	---------	-------------

公立大学法人大阪府立大学

はかってみよう！ 唾液でわかるストレスレベル

先生(代表者)	三宅 孝昭(みやけ たかあき) 地域連携研究機構・准教授			
自己紹介	専門は健康教育学です。子ども達が健康な生活を送ることができるよう、調査や測定などをおこなって、健康やからだに関する問題に、取り組んでいます。学生時代はキャンプリーダーをしており、現在も学生とともに子どものキャンプを開催しています。			
開催日時・主な募集対象	平成28年11月13日(日)	(対象)	中学生 高校生	(人数) 16名
集合場所・時間	大阪府立大学中百舌鳥キャンパス B3棟4階427実験室		(集合時間)	9時30分
開催会場	大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス B3棟4階427実験室 住所: 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 アクセスマップ: <a href="http://www.osakafu-u.ac.jp/access/index.html">http://www.osakafu-u.ac.jp/access/index.html</a>			
<b>内 容</b>				
<p>自分の唾液から、s-IgA(免疫グロブリン A)というたんぱく質の濃度を調べることにより、ストレスを測定します。測定は、ピペットという器具を用いて唾液にいくつかの薬品を入れて分析(写真)していきますが、大学生がみなさんのお手伝いをします。</p> <p>みなさんには、前日と当日起床直後の唾液を冷凍保存して、持ってきてもらい(唾液採取方法の説明や用具は事前に送ります)、分析していきます。分析には、唾液に薬品を入れた後、反応する時間がかかるので、その間にs-IgAや研究成果の話をしたり、休憩や昼食(大学で用意)を教員や学生と一緒にとったりします。</p> <p>これまでの研究で、s-IgAは1日の中で変化することがわかってきました。さて、どのように変化するのでしょうか。自分の唾液中のs-IgAを分析して、ストレスの1日の変化を調べてみましょう。</p>				
<b>スケジュール</b>			<b>持 ち 物</b>	
9:00 ~ 9:30	受付(B3棟4階427実験室集合)、唾液採取		自宅にて、前日と当日朝の唾液を採取し、冷凍保存した後、保冷バックに入れ持参してください。	
9:30 ~ 10:00	開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)			
10:00 ~ 10:30	実験の概要、分析器具の使い方の説明		<b>特 記 事 項</b> 自宅での唾液採取に関する用具(採取用具、保冷剤、保冷バック等)及び採取方法説明書は、事前に送付します。	
10:30 ~ 13:00	唾液の分析①・途中で休憩はさむ (解凍、遠心分離、サンプル希釈分注など)			
13:00 ~ 14:00	昼食(大学のことなど聞いて下さい)、休憩			
14:00 ~ 14:20	唾液の分析②(薬品分注)			
14:20 ~ 15:10	講義(s-IgA、ストレス、研究成果など)、休憩			
15:10 ~ 15:30	唾液の分析③(発色液、反応停止液注入)			
15:30 ~ 16:30	データ分析、グラフ作成、まとめ			
16:30 ~ 17:00	修了式(アンケート記入、未来博士号授与)			
17:00	終了・解散			



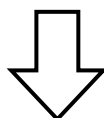
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	地域連携研究機構 研究支援課 戸浦 昌子
住所：	大阪府堺市中区学園町1番2号
TEL 番号：	072-254-9804
FAX 番号：	072-254-9874
E-mail：	cmt28347@osakafu-u.ac.jp
申込締切日：	平成28年10月21日(金)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
三宅 孝昭	H19-21	基盤研究(C)	19500581	幼児の生活習慣とストレスの関連性に関する研究
三宅 孝昭	H23-26	基盤研究(C)	23601018	幼児の s-IgA 及び体温からみた生活習慣改善効果の検討
三宅 孝昭	H27-29	基盤研究(C)	15K01765	身体活動量の増加が幼児の免疫機能に及ぼす影響



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。